

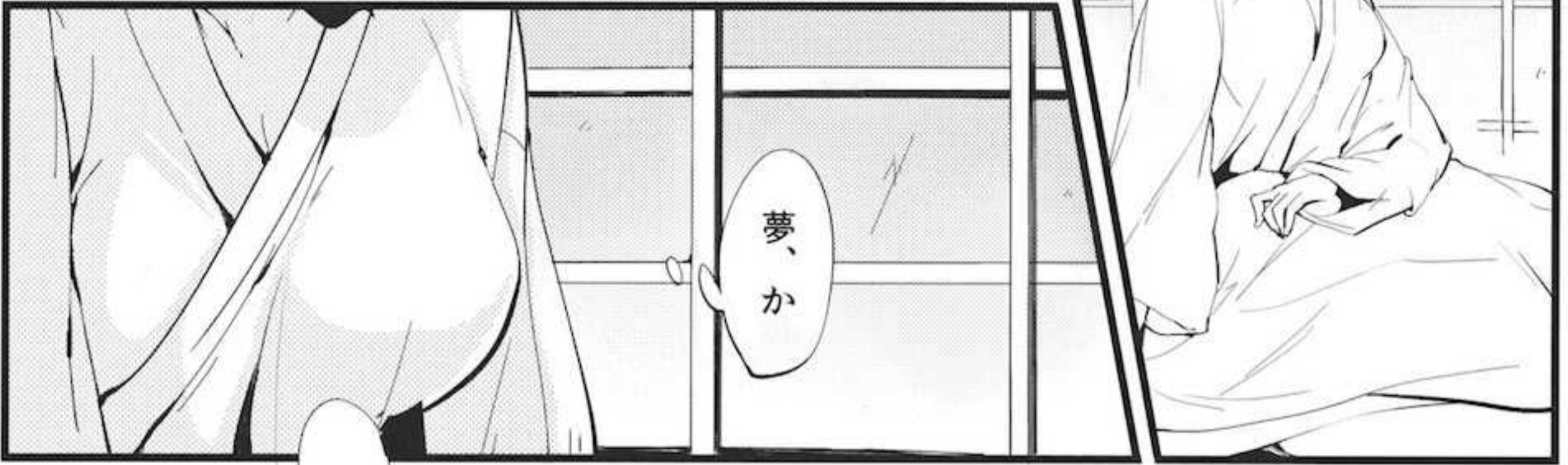
風
前
燈
火



やさかさみ

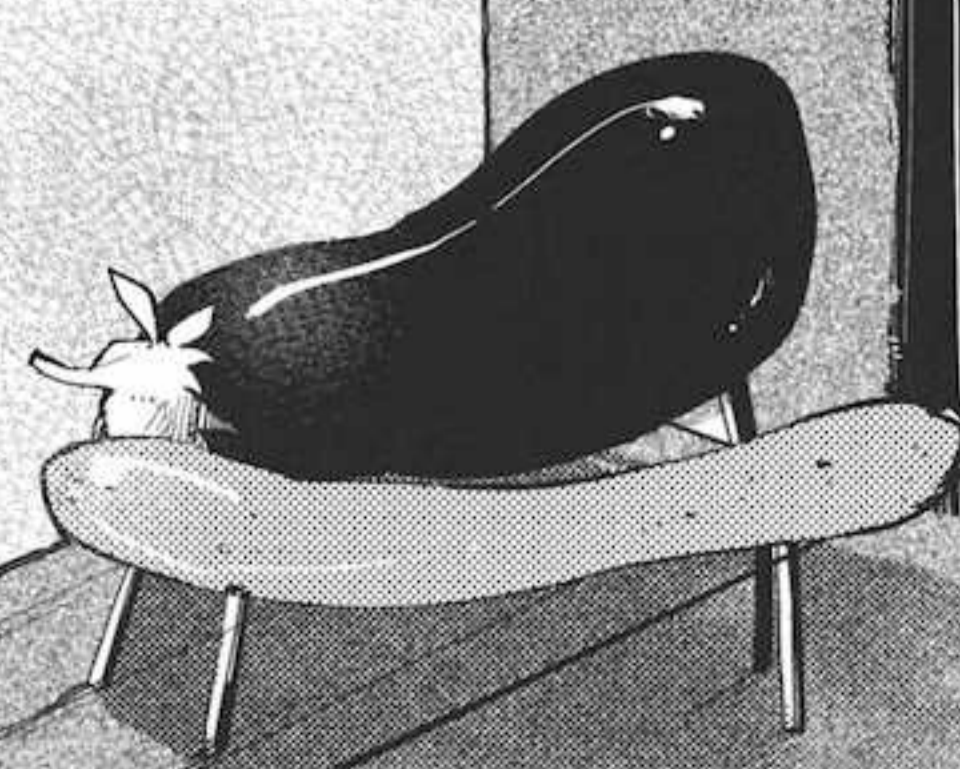
やさかたけ













夏本番、
つてところね



あつい



う……



あら
どうしたの？

あ？
神奈子様、
諏訪子様！

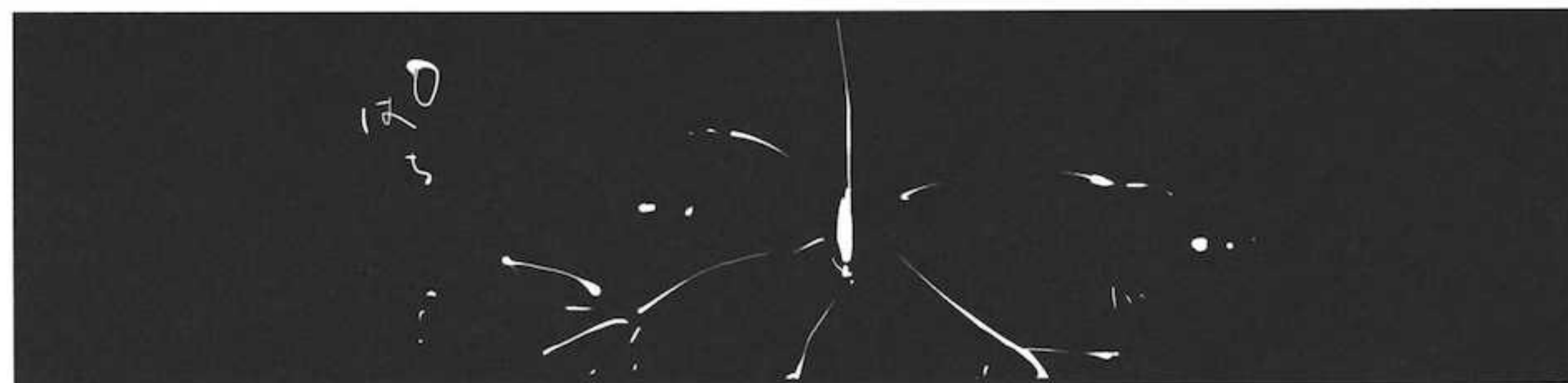
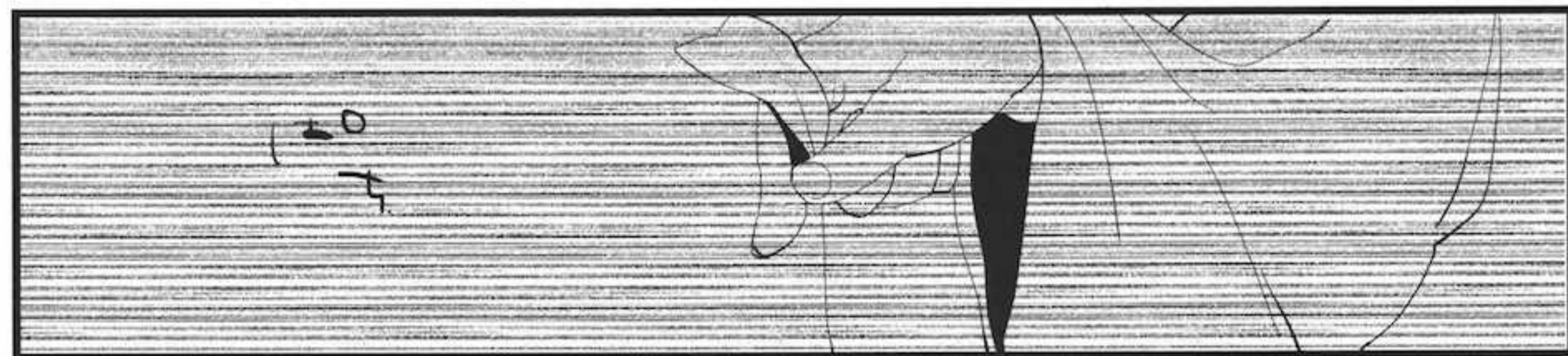


これ
なんですけど



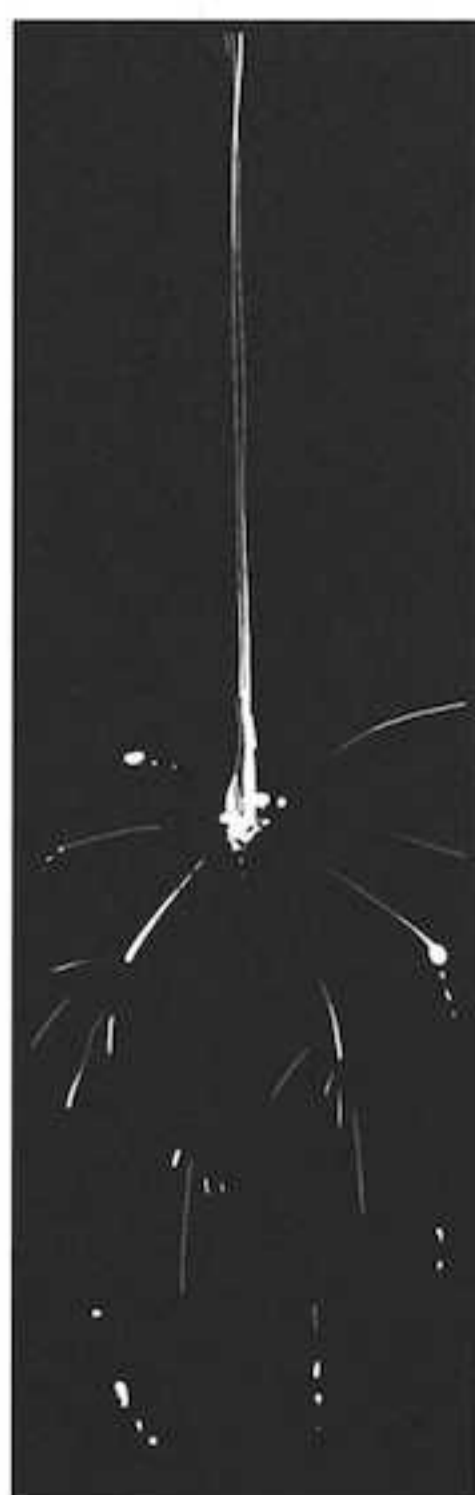
あの…
今晚、お時間
よろしいですか？

ん…
何かあるの？





ああ
そうか



…神奈子？

思い出した

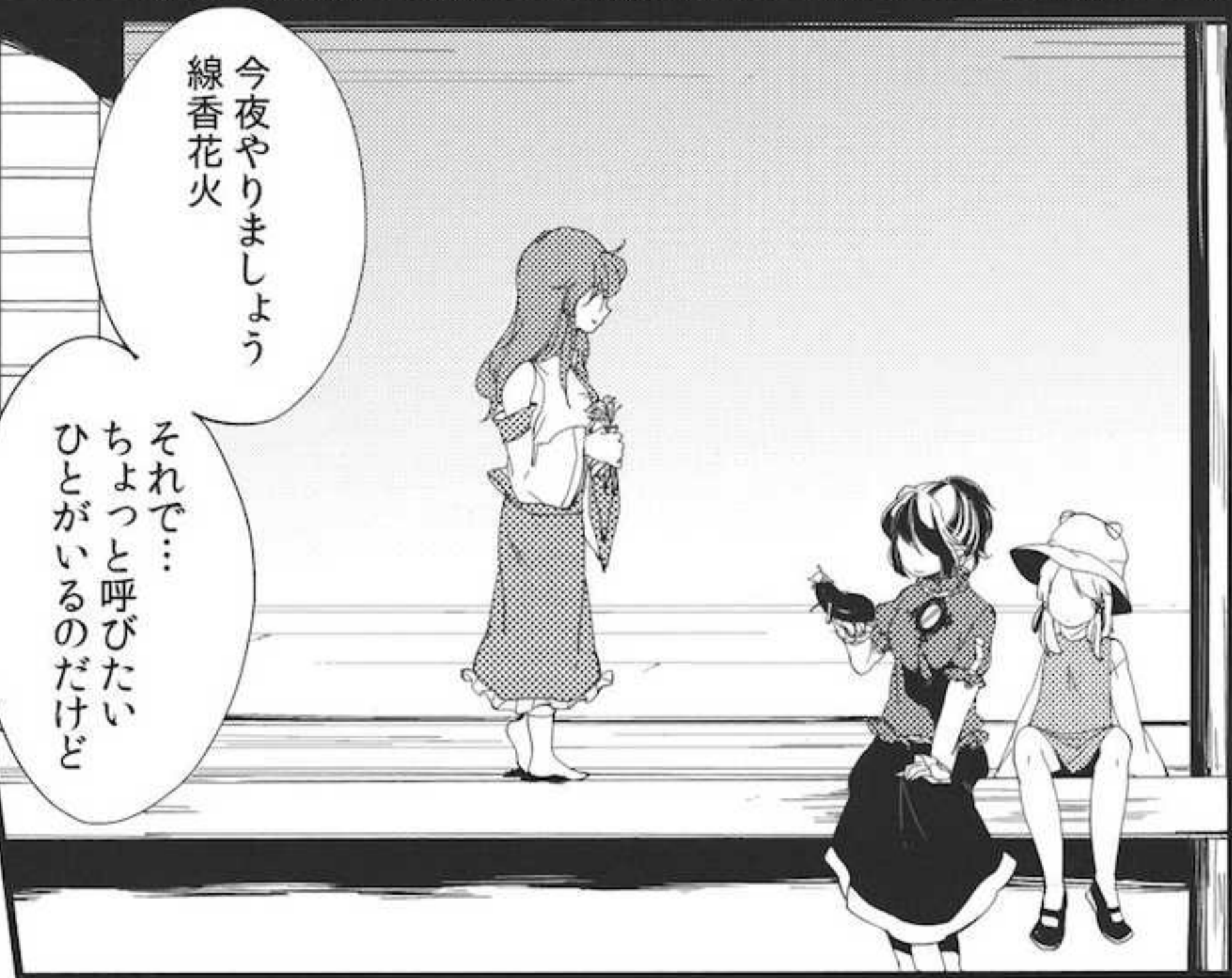
そうね

あの子はもう



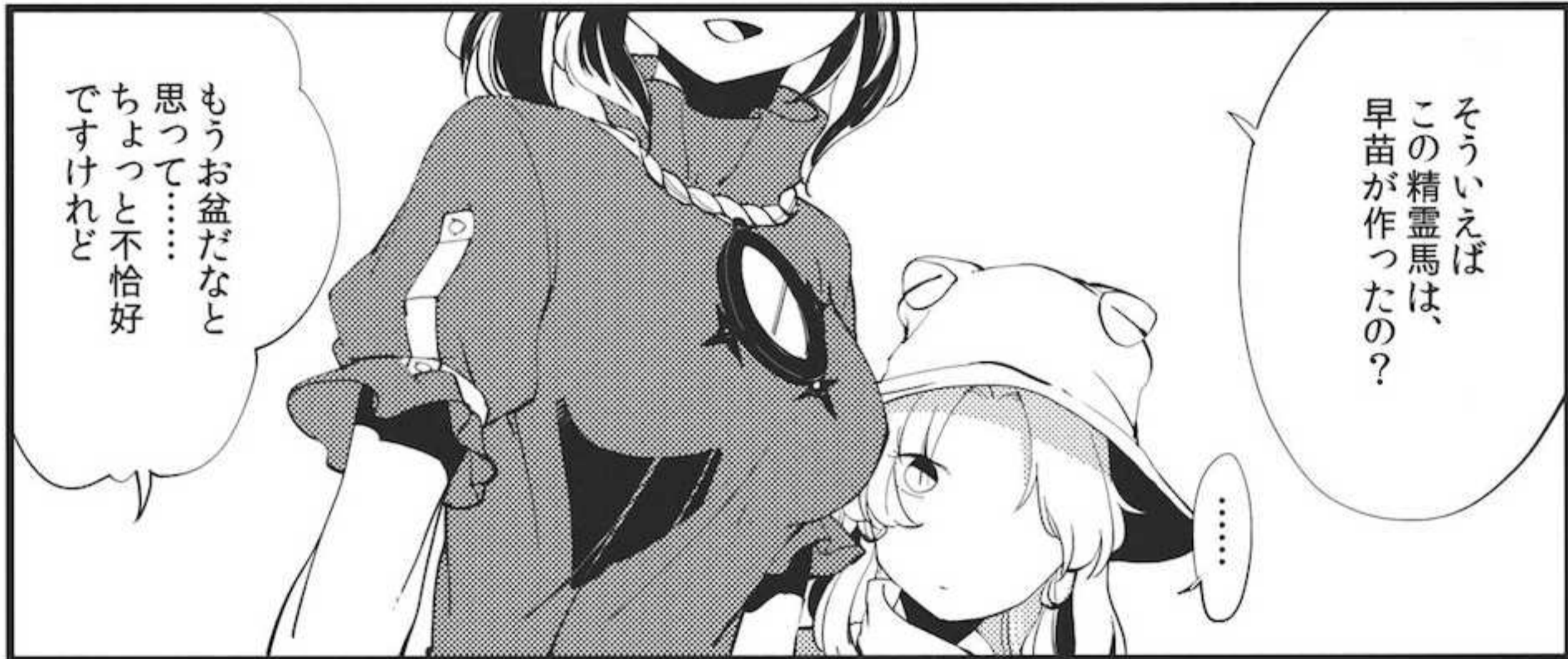
もちろん構いません！

ありがとう



今夜やりましょう
線香花火

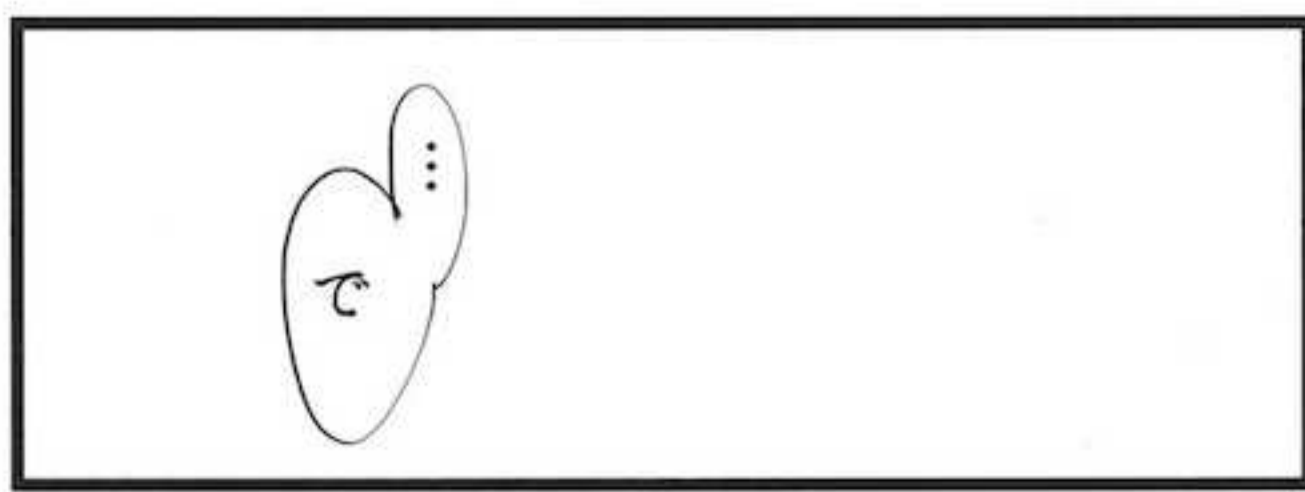
それで：
ちよつと呼びたい
ひとがいるのだけど



そういえば
この精霊馬は、
早苗が作ったの？

……

もうお盆だなど
思つて……
ちよつと不恰好
ですけれど



おつかい

あつめたい飲みもの
お持ちしますねー！
おつかい

だれを
呼びたいわけ？

あら
機嫌損ねないで
ちょうだい

理由があるの

昨日の、
でしょう

ともなると、
呼びたいのはあの
亡霊娘あたりかな

どう？

…そうよ

もう、
随分と昔の
話だから





花火しよう、って
毎日神社に来る
女の子がいたの

当時既に、
私たちが見える
人間は減りつつ
あったから



私を見つけては
駆け寄ってくる姿が
とても印象的だった

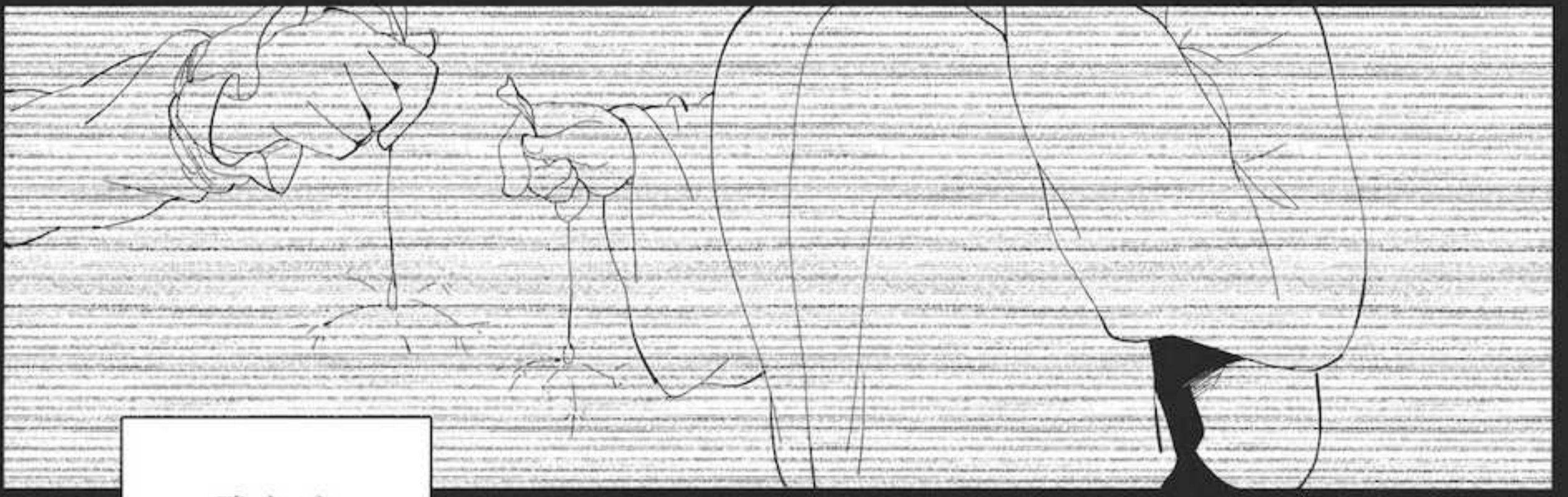
あ、
やさかさま



その子は毎日必ず
線香花火を持ってきて、
私に一本渡してくれた

はい、
やさかさまの





まだ幼かったから
なのか、一度も私に
勝つことのないまま

あ、



きょうも
まけかあ

でも

あしたはきつと
かつよ、
やさかさま



来るかしら

急にぱったりと
足が途絶えてから、
それつきり



そろそろ始めて
みましようか？

さて、
あの子たちも待ってる
みたいだし

ふわ



きつとね



ちよつと変わった
迎え火を、ね

170
5



迎え火、か



170
5



170
5



本当に来るのなら

あの時来なかった 明日 が、あの子が、本当に来るのなら



やさかさま



わたしのかち









こんにちは、木口です。

今回は守矢というより神奈子の話になりました。
長く生きてきた神様なので、沢山の人間との別れを繰り返している
のだろうと思うと、どんな想いで人の死と向き合っているのか、
心中を探りたいところです。

今回はあまり諏訪子と神奈子が話すシーンは無かったのですが、
すわかな度はいつもより高めなように感じます。
本気か冗談かはさておき、諏訪子はわりとひどいことをさらっと
言っただけそうなイメージです。

神奈子が絡むとなおさら。

それではここまで読んでくださってありがとうございました。

2012.8.11 「風前燈火」

mental apricot (<http://menprico.o-oi.net/>)

木口 (<http://www.pixiv.net/member.php?id=2537705>)

印刷) 株式会社明光社 STARBOOKS

原作) 上海アリス幻楽団

無断転載、アップロードなどをご遠慮ください





Toho project fanbook
2012.8.11. mental apricot